HITACHI
Inspire the Next

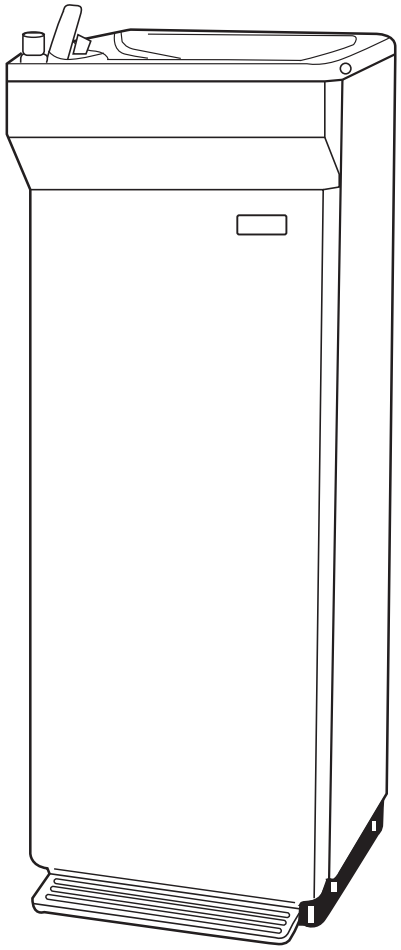
取扱説明書

保証書別添付

日立ウォータークーラー 屋内用 業務用

型式

RW-225PD
（アールダブリュー　ピーディー）



このたびは、**日立ウォータークーラー**をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・据え付け説明書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」 ➡ P.2～3 をお読みいただき、正しくお使いください。

この製品には地球温暖化係数（GWP）が 1430 のフロン類（HFC-134a）が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等にあたってはフロンの回収が必要です。

【冷媒の「見える化」表示について】
この表示は、本製品に温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識して頂くための表示です。

目　次

●**安全上のご注意**…… 2～3
- ●据え付け上の注意事項　●使用上の注意事項
- ●修理時の注意事項

●各部の名称と働き …… 4

●据え付けについて …… 5
- ●据え付け場所について　●放熱のための隙間について
- ●本体を床面に固定するとき　●アース接続について

●お使いになる前に …… 6～7
- ●前パネルの外し方、取り付け方について
- ●冷却タンク内の洗浄　●冷却タンク内への給水
- ●ノズルから出る飲料水量調節

●お使いになる前に知っておいていただきたいこと…. 8

●このようなことにもご注意を…… 8

●ご使用方法…… 9～10
- ●現在時刻・洗浄時刻の設定と洗浄時刻の確認のしかた
- ●節電モードの設定のしかた　●水抜きのしかた
- ●運転を再開するときは

●お手入れと点検について…… 11
- ●お手入れの方法　●定期的に点検しましょう

●サービスを依頼されるときは…… 12

●保証とアフターサービスについて…… 13

●仕　様…… 14

●別売品…… 14

●お客様ご相談窓口 …… 16

日本国内
Use only in Japan

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例
⚠「警告や注意を促す」内容のものです。
⃠してはいけない「禁止」内容のものです。
❗実行していただく「指示」内容のものです。

■据え付け上の注意事項

⚠警告

厳守	**不安定な場所に設置しないでください。** 転倒・落下によるけがなどの原因になることがあります。
水ぬれ禁止	**水の掛かる場所や湿気の多い場所には据え付けないでください。** 絶縁が悪くなり、漏電し感電や火災の原因となります。
アース設置	**アースを確実に取り付けてください。** 故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。 アース工事は、必ず販売店または専門業者に依頼してください。
厳守	**定格15A交流100Vのコンセントを単独で使ってください。** 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⚠注意

厳守	**専用の漏電遮断器を設置してください。** お買上げの販売店または専門業者に依頼してください。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
禁止	**油・可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。** 万一漏れてウォータークーラーの周辺にたまると、発火の原因になることがあります。

■使用上の注意事項

⚠警告

禁止	**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。** 感電・ショート・発火の原因になることがあります。
厳守	**電源プラグはコンセントに刃の根元まで確実に差し込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。** 異常発熱や火災の原因になることがあります。
禁止	**電源プラグをウォータークーラーの背面で押しつけないでください。** 電源プラグを傷つけ、感電や火災の原因になることがあります。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電の原因になります。
水ぬれ禁止	**本体に水を掛けないでください。** 電気部品に水が掛かると感電や火災の原因になります。

■使用上の注意事項（続き）

⚠警告

禁止 **定格電圧（単相 100V）以外で使わないでください。**
定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。

禁止 **ウォータークーラーの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。**
転倒・落下によりけがや破損の原因になることがあります。

禁止 **可燃性スプレーを近くで使わないでください。**
電気接点のスパークで引火するおそれがあります。

厳守 **可燃性ガスなどのガス漏れがあったときには、ウォータークーラーやコンセントには手を触れず、窓を開けて換気してください。**
引火爆発し、火災や火傷の原因になることがあります。

プラグを抜く **焦げ臭いなどの異常がある場合は、電源プラグを抜き、運転を中止し、お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口に点検・修理を依頼してください。**
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。

接触禁止 **空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒などを入れないでください。**
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。
吹き出し口や吸い込み口に触らないでください。端面で指をけがするおそれがあります。

⚠注意

禁止 **電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。**
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

プラグを持つ **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。**
感電やショートして発火することがあります。

禁止 **自動洗浄のため、24 時間以上運転を停止しないでください。**
自動洗浄が行われず水質が悪化する恐れがあります。

厳守 **給水源に貯水槽や浄化装置がある場合は、水質にご注意ください。**
雑菌により健康を害するおそれがあります。

厳守 **冬期など周囲温度が0℃以下になるときには、水抜きをしてください。**
配管系に水が残っていると凍結し、配管を破損させて水漏れの原因になります。

厳守 **長期間ご使用にならないときは、必ず水抜きをし電源プラグをコンセントから抜いてください。**
水の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。

厳守 **素足でペダルを使用する場合は、ペダルとの挟まれにご注意ください。**
ペダルの下に挟まれ、けがのおそれがあります。

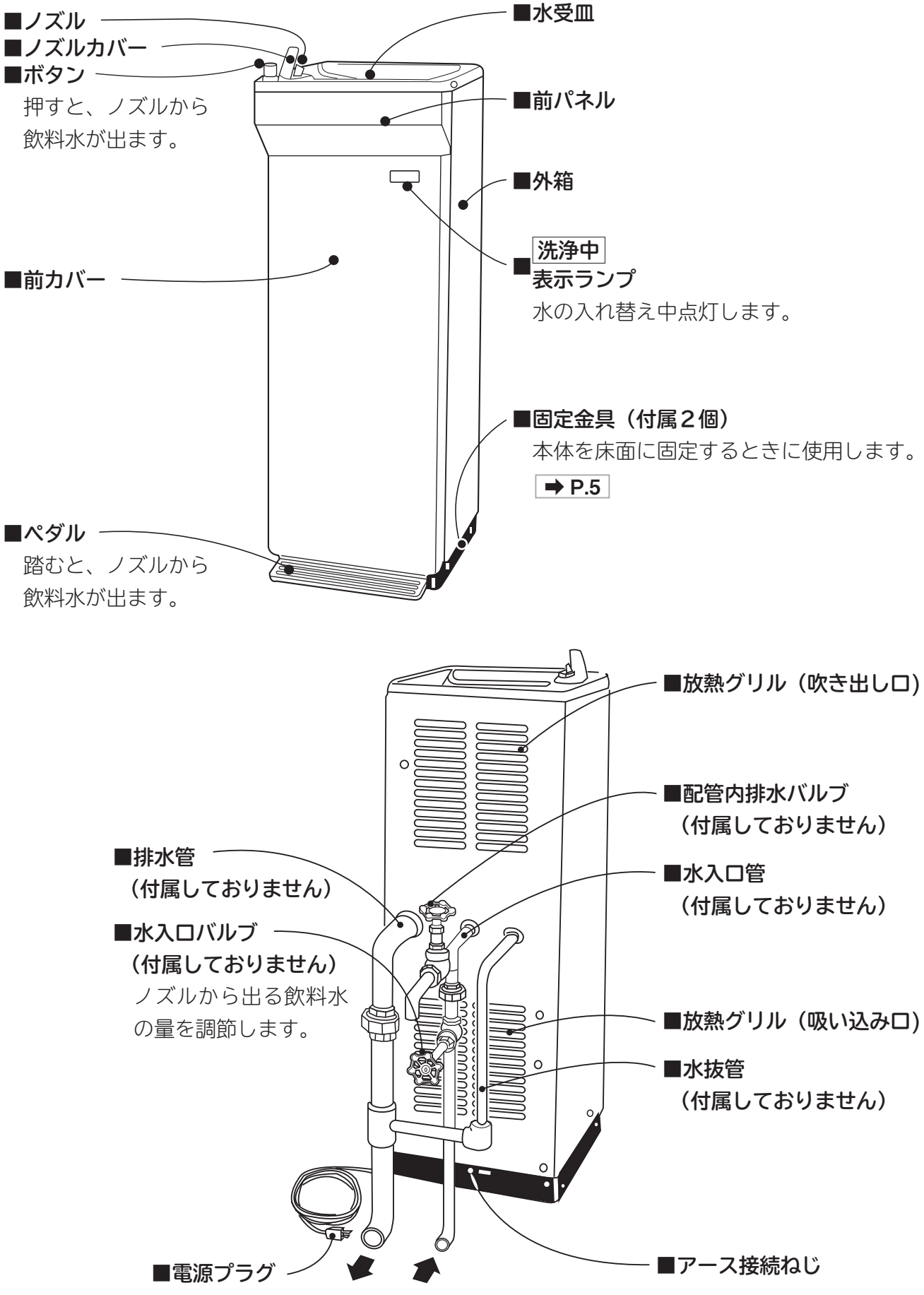
厳守 **ノズル、ノズルカバーのメッキが剥がれた箇所は絶対に触らないでください。**
剥がれたメッキでけがをするおそれがあります。

■修理時の注意事項

⚠警告

分解禁止 **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。**
発火したり、異常動作して、けがをすることがあります。

各部の名称と働き



※背面図の配管接続は、据え付け工事の一例です。

据え付けについて

据え付け工事は専門の技術が必要ですので、お買い求めの販売店または工事店にご相談いただき、水道事業者（各水道局等）または水道事業者の指定を受けた指定給水装置工事事業者に工事をご依頼してください。なお、費用や据え付け場所の選定も販売店または工事店にご相談ください。

●給水源には必ず水質基準（厚生労働省令第 101 号）に適合した飲料水をご使用ください。
●給水圧はゲージ圧0.15～0.7MPaの範囲内でお使いください。

⚠警告

●据え付け工事は水道事業者または水道事業者の指定を受けた指定給水装置工事事業者に工事をご依頼してください。
お客様ご自身で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

据え付け場所について

1　不安定な場所に設置しないでください。
●据え付けが不安定ですと、振動や騒音の原因になります。
●正常に動作しないおそれがあります。
●転倒・落下によるけがなどの原因になることがあります。

2　熱気の少ない所
●直射日光やコンロなどの熱影響を受けますと、冷却力が弱くなります。
●周囲温度30℃以下の所に据え付けてください。なお、35℃まではご使用になれますが、冷却力が弱くなります。

3　湿気の少ない所
●湿気の多い所や、水の掛かる所に据え付けますと、絶縁が悪くなったり、さびたりするおそれがあります。

4　据え付け面がぬれても差し支えない所
●湿気が高いときは配管などの表面に露がつき滴下することがあります。

5　排水しやすい所

⚠警告

●水の掛かる場所や湿気の多い所に据え付けない。
絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。

●不安定な場所に設置しないでください。
据え付けに不備があると水漏れ、転倒、落下によるけがなどの原因になることがあります。

⚠注意

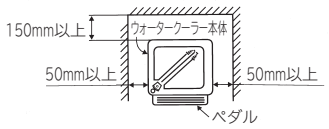
●周囲温度が０℃以下になり凍結するおそれのある場所へは据え付けない。
周囲温度が0℃以下になり凍結するおそれがあるときは必ず水抜きをしてください。
給水管の破損により水漏れし、周囲（家財など）をぬらす原因になることがあります。

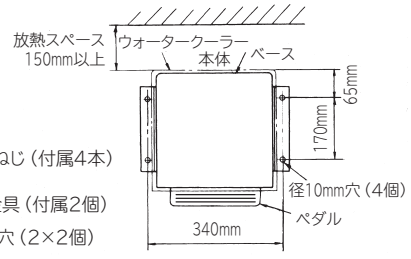
●据え付け面がぬれても差し支えない所に据え付ける。
給排水の水漏れや、結露水の発生から周囲(家財など）をぬらす原因になることがあります。
電気器具やコンセント等に水が掛かると、感電や火災の原因になることがあります。

●焼き肉、お好み焼きなどの飲食店や、調理場付近では直接油煙（オイルミスト）を吸い込まない位置に据え付けてください。
油分などが付着すると、プラスチック部分に亀裂が生じたり熱交換器などの金属部品が腐食するおそれがあります。

放熱のための隙間について

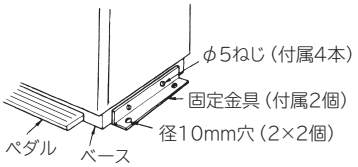
●ウォータークーラーの周囲には、図のような隙間をとってください。
隙間をとらないと、冷却力が弱くなり電気代のむだにもなります。
●放熱グリルの周囲は、カバーなどで覆わないでください。





本体を床面に固定するとき

●転倒防止のため、ベースの両側面に付いている固定金具を図のように反転して取り付け、市販のＭ８アンカーボルト等を使用して床面に固定してください。



アース接続について

●万一、漏電した場合の感電防止と機械の保護のために必ず正しいアースをしてください。アースはD種接地工事（電気設備基準で定める接地抵抗100Ω以下のもの）が必要です。お買い求めの販売店に依頼してください。
●アース線は背面にあるアース接続ねじに接続してください。

⚠警告

●アース工事を必ず行う
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。アース工事は必ず、販売店または専門業者に依頼してください。

お使いになる前に

前パネルの外し方、取り付け方について

前パネルは次のようなときに外します。

1 ボタン連続レバーをセットするとき ➡ P.7
2 現在時刻、洗浄時刻の設定のしかたと洗浄時刻の確認のしかた ➡ P.9
3 水抜きをするとき ➡ P.10

前パネルの外し方

前パネルは図１のように前パネルの爪が外箱の角穴に掛かって取り付いています。前パネルを外すときは次の手順で行います。

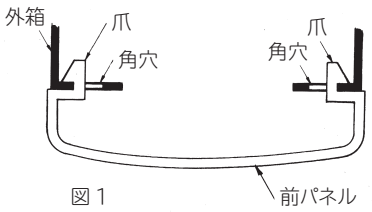


図１

1 前パネルの左右どちらかの側面の▬マークを手で軽くたたくようにして内側に押し（図２）、前パネルの爪を外箱の角穴から外し（図３）、手前下方に下げます（図４）。

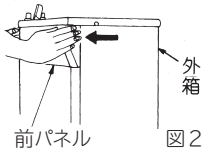


図２

図３

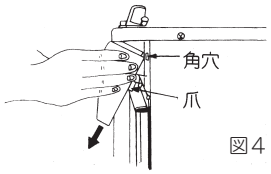


図４

2 爪を外した側に横にずらし（図５）、手前下方に下げます（図６）。

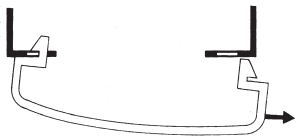


図５

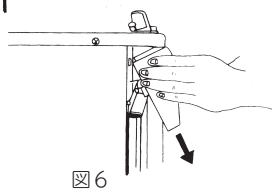


図６

前パネルの取り付け方

前パネルを取り付けるときは次の手順で行います。

1 前パネルの爪を外箱の角穴に合せ両側面を内側に押します。（図７）
2 そのまま後方に押しつけ、前パネルの爪を箱の角穴に確実に入れます。

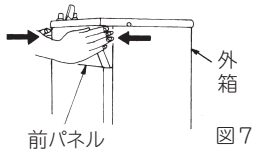


図７

冷却タンク内の洗浄

据え付け当初は、水に配管などの臭いが移ることがあります。臭いが消えるまで次の手順で充分水を流してください。

1 水入口に接続してある水入口バルブを開けます。各部の名称は ➡ P.4
2 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 「洗浄中」表示ランプが点灯し冷却タンク内を約７分間、強制的に自動洗浄を行います。「洗浄中」表示ランプが点灯中は洗浄を停止することはできません。

１回の洗浄で充分なときは、「冷却タンク内への給水 ➡ P.7 」の手順で水を入れます。さらに、洗浄を続けるときは、電源プラグをコンセントから抜き差しして、７分間の自動洗浄を行うか、下記手順で洗浄を行ってください。

3 ボタン連続レバーをセットします。
4 水抜きスイッチ（操作部に示す）を「入」にします。

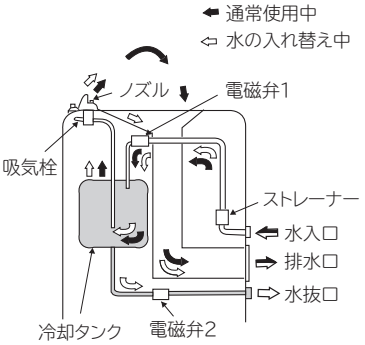
洗浄を終了する場合

5 ボタンを押してボタン連続レバーを外します。
6 水抜きスイッチ（操作部に示す）を「切」にします。

ご注意

- 電源プラグをコンセントから抜き差しするたびに冷却タンク内を７分間、強制的に洗浄を行います。

＜水の流れ系統図＞



冷却タンク内への給水

冷却タンク内へ水を入れるときは次の手順で行います。

1 水入口に接続してある水入口バルブを開きます。

（電源プラグをコンセントに差し込み7分間（自動洗浄）経過後または、冷却タンク内の洗浄終了後、実施してください。）

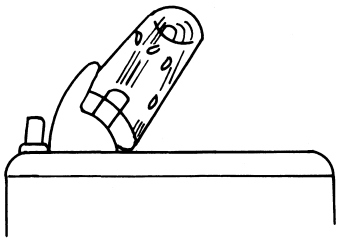
2 水抜きスイッチを「切」にします。

3 ボタン連続レバーをセットします。
冷却タンクへ水が入ると同時に、ノズルから冷却タンク内の空気が水と混って噴出するので、図のようにコップをかぶせ水の飛び散りを防いでください。

4 正常な噴水になったら、ボタンを押して連続レバーをはずします。

ご注意

●ボタン連続レバーのセットおよびボタン、ペダル操作による通水を連続して1時間以上行うと洗浄ランプが点滅し運転を停止します。そのときは電源プラグを抜き再度挿入してください。また、冷水タンクの洗浄は電源が入った直後行ないますが、設定した洗浄時刻は変わりませんので、洗浄時刻の再設定は不要です。 ➡ P.9

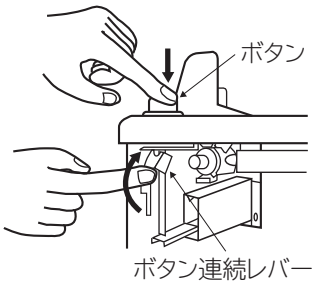


ボタン連続レバーのセットのしかた

1 前パネルを外します。
前パネルの外し方は ➡ P.6

2 図のようにボタンを押したまま、ボタン連続レバーを上方に 90° 回します。

3 そのままボタンを離して、ボタン連続レバーをセットします。



●ボタン連続レバーをセットすると、電磁弁1が常に開いた状態になります。

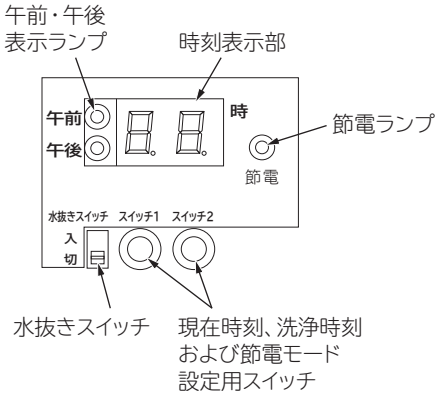
●再度ボタンを押すと、ボタン連続レバーが外れ電磁弁1が閉じます。

水抜きスイッチについて

1 前パネルを外します。
前パネルの外し方は ➡ P.6

2 右側に操作部があります。その中に水抜きスイッチがあります。

＜操作部＞



●水抜きスイッチを「入」にすると、電磁弁2が常に開いた状態になります。

●水抜きスイッチを「入」のままにしておくと、ノズルから飲料水はでないので、ご注意ください。

ノズルから出る飲料水量調節

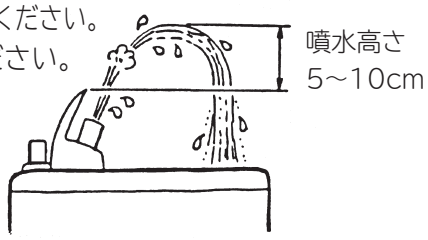
ノズルから出る飲料水量調節は次の手順で、水入口バルブの開閉で行います。 ➡ P.4

1 水入口バルブをいったん「全閉」にして、ボタン連続レバーをセットしてください。

2 水入口バルブをゆっくり開けてゆき、ノズルから出る飲料水量を見ながら調整してください。

3 再度調整を行う場合は水入口バルブを再度「全閉」にしてから行ってください。

噴水の高さはノズルカバーの上端より5～10cmが適当です。（給水圧はゲージ圧 0.15 ～ 0.7MPa の範囲内での調節です。）水を出した瞬間だけ水が高く飛び、水受皿から水が飛び出すことがあります。水を出した瞬間も水受皿から水が飛び出さない高さに、水入口バルブを調整してください。



お使いになる前に知っておいていただきたいこと

●以下の項目をよくお読みいただき、範囲外の使用はさけてください。

1　運転可能な周囲温度は1℃～ 35℃です。

●周囲温度が０℃以下の場合、配管内の水が凍結し使用できなくなるばかりか、配管を破損することがあります。周囲温度が０℃以下になり凍結するおそれがあるときは必ず水抜きをしてください。

2　飲み頃の水温になるまでの時間

●洗浄運転後も飲み頃の水温（25℃→約 10℃）になるまで約 25 分かかります。
●冷却タンクへの給水が完了し、運転開始後飲み頃の水温（25℃→約 10℃）になるまで約 25 分かかります。

3　洗浄中（洗浄中ランプ点灯）は飲料水を飲むことはできません。

●このウォータークーラーは常に清潔な飲料水をお飲みいただけるよう自動的に冷却タンクの水を入れ替える機能が付いています。この機能は電源を入れた直後および、お望みの時刻に設定した洗浄時刻に、洗浄運転を行います。（電源が切れても設定した洗浄時刻は変わりません。）
●洗浄中（洗浄中ランプ点灯）は冷却タンクの洗浄と同時に配管内の洗浄も行うためノズルからも少量流水をしますが、飲まないでください。洗浄時間は１回につき約７分間です。
●洗浄中は押しボタンを押しても、ペダルを踏んでも流水量は少量のまま変わりません。

このようなことにもご注意を

1　断水のときは

●断水が予告されたり、断水に気付いたときは、水入口バルブを閉めてください。水入口バルブを開けておきますと、通水されたときに赤水が出て 、“詰まり”の原因になることがあります。

2　使用中に停電したとき

●停電のときは、押しボタンを押しても、ペダルを踏んでも飲料水はでません。
●設定した現在時刻および冷水タンク洗浄時刻は、電源を切ったり、停電があると、そのときの時刻のままです。➡ P.9
●電源を入れたり停電が復旧すると操作部の午前・午後表示ランプ、時刻表示部が電源を切ったり停電した時刻のまま点滅します。➡ P.9
スイッチ１またはスイッチ２を押し点滅を解除してください。操作部の時刻表示部を確認し、現在時刻と合っていない場合は再度設定をしてください。➡ P.9

3　改造してご使用にならないでください。

●ノズルからさらに配管を延長したり、その配管にバルブを接続してお使いになりますと、冷却タンク内に大きな圧力がかかり、タンク亀裂・水漏れのおそれがあります。
●ノズルに配管等を接続すると、ノズル、ノズルカバーのメッキ剥れのおそれがあります。

4　冬期の凍結について

●冬期など周囲温度が０℃以下になり凍結のおそれがあるときは、必ず冷却タンクや配管の水抜きをしてください。
水抜きをしないと冷却タンクや配管が破損するおそれがあります。水抜きのしかたは➡ P.10

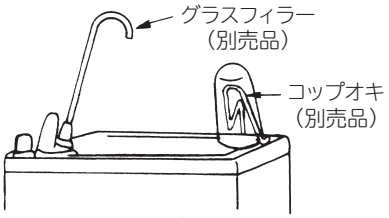
5　洗浄中表示ランプが点滅しているときは

●洗浄中表示ランプが点滅しているときは、水を入れ替える機能等の故障です。すぐにお買求めの販売店にご連絡ください。

ご使用方法

1　運転開始

電源プラグをコンセントに差し込むと運転を開始しますが、冷却タンク内の洗浄、冷却タンク内への給水作業が必要です。冷却タンク内への給水 ➡ P.7 が完了後、飲み頃の水温（25℃→10℃）になるまで約25分かかります。
その後、ご使用できます。



2　飲料水の取り出し方

ペダルを踏むまたは、ボタンを押すと、ノズルから飲料水がでます。

●別売品として、便利なグラスフィラーとコップオキを用意しています。
お買求めの販売店にご注文ください。別売品については ➡ P.14

現在時刻・洗浄時刻の設定と洗浄時刻の確認のしかた

冷却タンク内の洗浄時刻をお望みの時刻に変更するときは、次の手順で行います。（洗浄中に、現在時刻または冷水タンク洗浄時刻を設定しても約７分間の洗浄は継続します。）
電源は入れたまま行います。

1　前パネルを外し、操作部を出します。
前パネルの外し方は ➡ P.6

2　現在時刻を設定します。

●スイッチ1を2秒間押し続けると設定モードになり時刻表示部が点滅し、午前・午後ランプが点灯します。
●スイッチ1を押し続けると1秒ごと、または1回押すごとに1時間進みます。
●スイッチ1に3秒間入力がないと設定終了となり、通常運転になります。

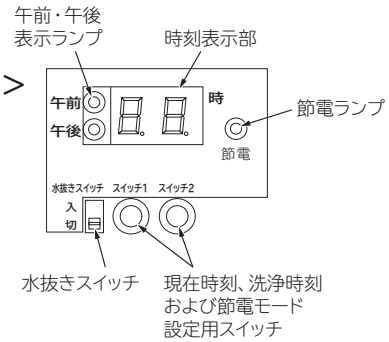
3　冷却タンクの洗浄時刻を設定します。

●スイッチ2を2秒間押し続けると設定モードになり時刻表示部が点滅し、午前・午後ランプが点灯します。
●スイッチ2を押し続けると1秒ごと、または1回押すごとに1時間進みます。
●スイッチ2に3秒間入力がないと設定終了となり、通常運転になります。

4　冷却タンク内の洗浄時刻を確認します。

●スイッチ2を1回押しますと時刻表示部に3秒間洗浄時刻が表示されます。
●夜12時は午前12時、正午は午後12時と表示します。

＜操作部＞



＜設定例＞

●現在時刻が午前8：31～9：30のとき“午前9時”と設定します。
●このとき“冷却タンク内の洗浄時刻”を午後10時と設定すると、午後10時の前後約30分間の範囲で水の入れ替えが始まります。

お買い上げ時、電源を入れた時間を午前12時として運転します。また洗浄時刻を午前12時と設定されます。

節電モードの設定のしかた

節電モードは、飲料水の水温を約8℃に上げ、通常運転（約6℃）より消費電力量を抑えます。（洗浄中に節電モードを設定しても約７分間の洗浄は継続します。）

1　前パネルを外し、操作部を出します。前パネルの外し方は ➡ P.6

2　節電モードを設定します。

●節電ランプが消灯していることを確認します。（お買い上げ時）
●スイッチ1とスイッチ2を同時に2秒以上押し続けます。
●節電ランプが点灯し、スイッチ1とスイッチ2を離すと節電モードになります。
●節電モードに設定した場合は、設定を解除するまで節電モードを継続します。

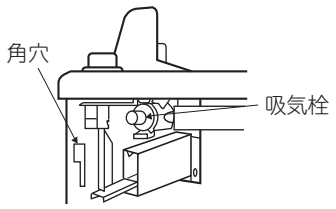
3　節電モードを解除します。

●節電ランプが点灯していることを確認します。
●スイッチ1とスイッチ2を同時に2秒以上押し続けます。
●節電ランプが消灯し、スイッチ1とスイッチ2を離すと通常運転になります。

節電モード時は水温が約2℃上がります。

水抜きのしかた

周囲温度が0℃以下になって凍結するおそれがあるとき、または1週間以上ご使用にならない場合は次の手順で冷却タンクや配管の水抜きをしてください。



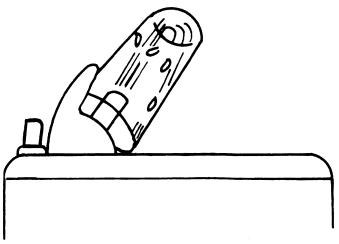
1 水入口に接続してある水入口バルブを閉めます。
2 前パネルを外し、吸気栓を時計方向に90°回してから引っ張り取り外ずしてください。
3 水抜きスイッチ（操作部に示す）を「入」にします。
約10分ほどで冷却タンク内の水が排水されます。
4 配管内排水バルブを開けます。➡ P.4
5 ペダルを約10秒ほど踏み続けます。配管内の水が排水されます。
6 水抜きスイッチを「切」にします。
7 電源プラグをコンセントから抜きます。
8 吸気栓を入れ反時計方向に回して取り付けます。

●水抜きが終了したら、１週間ほどそのままにして内部を乾燥させてから吸気栓と配管内バルブを閉めてください。
●ほこりよけの簡単なカバーをかぶせておくと安心です。

運転を再開するときは

毎日1回の通水と月1回の冷却タンク内洗浄および冬期など周囲温度が0℃以下になるときなどの水抜きを行ったあとは、次の要領で運転を再現します。

1 前パネルを外して、水抜きスイッチが「切」、吸気栓が取り付けてあることを確認してください。
2 水入口バルブを開け、電源プラグをコンセントに差し込みます。
約７分間冷却タンク内を自動洗浄します。➡ P.6
3 ボタン連続レバーをセットします。➡ P.7
冷却タンクへ水が入ると同時に、ノズルから冷却タンク内の空気が水と混って噴出するので、図のようにコップをかぶせ水の飛び散りを防いでください。
4 正常な噴水になったら、ボタン連続レバーを外し運転の再開となります。



お手入れと点検について

お手入れの方法

ウォータークーラーを長持ちさせるため、定期的にお手入れをしてください。お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本体表面のお手入れ（週に1回程度）

●柔らかい布で拭いてください。
汚れのひどいときは、柔らかい布に中性洗剤を入れたぬるま湯を含ませて拭いてください。拭いたあとは、洗剤が残らないようきれいな水を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。
電気部品の周囲は固く絞った布で拭いてください。

●直接水を掛けないでください。
水が掛かると絶縁が悪くなったりさびたりします。

●次のようなものは使わないでください。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・熱湯・たわしなど。

●化学雑巾をご使用の際は、その注意書に従ってください。

水飲み口周囲

●ノズルや水受皿などの水飲み口周囲は、こまめにお手入れをしてください。

●ボタンの周囲に水を掛けると内部に水が入るおそれがありますので、固く絞った布で拭いてください。

⚠注意

●水飲み口周囲のノズル、ノズルカバーの剥がれたメッキによって手を切るおそれがあります。剥がれたメッキには絶対に触らないでください。

●メッキに傷、剥がれ等があった場合は、使用を中止して、すぐにお買上げの販売店に連絡して部品交換を行なってください。

⚠警告

●ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたりしない。
感電の原因になります。

●水を掛けない。
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

●電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭きとる。
ほこりでショートしやすくなり、火災の原因になります。

●電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電･ショート･発火の原因になります。

定期的に点検しましょう

安心してご使用いただくために、半年～１年に１度定期的に次のような点検を行ってください。
そのとき、もしご不審な点がありましたら、すぐお買い上げの販売店にご連絡ください。（年に1、2回）

●電源プラグは、コンセントにしっかり入っていますか？
●電源プラグに異常な発熱などありませんか？
●電源コードに亀裂や、すり傷がありませんか？
●本体背面の放熱グリル周囲にほこりなどがたまっていませんか？
●給水管・排水管に水漏れはありませんか？
●アース線は切れたり接続がゆるんでいませんか？

サービスを依頼されるときは

故障かなと思ったらまず次のことをお調べください。

●下記のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここを確認してください	直しかた
運転しない	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	停電やブレーカー、ヒューズが切れていませんか。	ブレーカーが“OFF”になっている場合は、“ON”にしてください。 ヒューズが切れている場合は、新しいヒューズと交換してください。
よく冷えない	周囲温度が35℃以上あるいは、水道の水温が30℃以上になっていませんか。	周囲温度が35℃、給水の水温が30℃を超えないようにしてください。
	直射日光が当たったり、近くにコンロやレンジなどがありませんか。	直接熱が当たらないようにしてください。
	周囲の隙間は適切ですか。	➡ P.5 を厳守してください。
	放熱グリルをカバーなどで塞いでいませんか。	放熱グリルを物で塞がないように配置してください。
	放熱グリルにほこりや紙くずがたまっていませんか。	ほこりや紙くずを取り除いてください。
	水を入れ替えた直後ではありませんか。	少々お待ちください。 飲み頃の水温になるまで約25分かかります。 ➡ P.8
	少し前に停電していませんか。	少々お待ちください。 飲み頃の水温になるまで約25分かかります。 ➡ P.8
音がうるさい	不安定な所に設置されていませんか。	安定した所に設置してください。
	ウォータークーラーに何か物が触れていませんか。	外観に物が触れていないか確認してください。
水の出が悪い	給水圧が下がっていませんか。	水入口バルブを回して給水圧を上げてください。 ➡ P.4
水が出ない	水入口バルブが開いていますか。	水入口バルブを開いてください。 ➡ P.4
	断水や停電ではありませんか。	ご確認ください。
	給水管が凍結していませんか。	ご確認ください。
水が臭う	水道水に含まれる塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	

これは故障ではありません	
配管に露がつく	異常ではありません。これはコップに水を注いだとき回りに水滴が付くのと同じ現象で故障ではありません。
水が流れるような音がする	異常ではありません。これは冷凍サイクルの中の冷却液が流れる音（シュー）です。
ノズルから飲料水が漏れる	異常ではありません。これは飲料水取り出し直後に冷却タンクが縮小したり、運転中に冷却タンク内の水の一部が凍結し、内部圧力が一時的に上昇するために起こる現象です。
設定した洗浄時刻ではない時刻に洗浄を行う	停電が復旧すると自動的に洗浄を行います。洗浄時間は約７分間です。
	停電が復旧すると操作部の時刻表示は停電した時刻のままです。停電していた時間だけ、操作部の時刻表示と現在時刻がずれ、設定した洗浄時刻ではない時刻に洗浄を実施している場合もあります。
洗浄を７分以上行っている	停電が復旧すると自動的に洗浄を行いますが、その直後に設定した洗浄時刻になると洗浄を継続するため７分以上かかることがあります。

保証とアフターサービスについて（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
（ニ）車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。

保証期間：お買い上げの日から１年間です。（ただし、冷凍サイクル部品は3年間です。）

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

ウォータークーラーの補修用性能部品の保有期間は 、製造打ち切り後 8 年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

転居時は、取り外し、再据え付けが必要です。お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」（エコーセンター）➡ P.16 にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

➡ P.12にしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品　　名	日立ウォータークーラー
型　　式	RW-225PD （正面操作パネル銘板に記載されている型式をお知らせください。）
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご　住　所	付近の目印等もお知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　）　　－
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業に掛かる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金を頂く場合があります。

仕　様

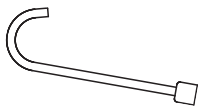
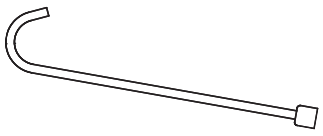
この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数等の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

型　　式	RW-225PD
タンク容量（L）	2
外形寸法（mm）	幅340×奥行346×高さ1030
定格電圧（V）	100
定格周波数（Hz）	50／60共用
定格消費電力（W）	176／190
性能（L/h）	10／11
製品質量（kg）	23
付属部品	固定金具（2個）、φ5ねじ（4本）

●定格消費電力および性能は周囲温度30℃、入口水温度25℃、出口水温度10℃のときの値です。
●／で示す数値は左が50Hz、右が60Hzの値です。
●本仕様は日本国内の使用においてのみ適用するものです。

別売品

■次の部品を購入する場合は、必ず販売店にお使いのウォータークーラーの型式をご指定のうえ、専用の部品をお買い求めになってください。

こんなときに	商品名	商品型式		希望小売価格
ノズルからコップなどに飲料水を注ぐときに	グラスフィラー（185 ミリ）	RW-200P 011		4,600円（税別）
ノズルからコップなどに飲料水を注ぐときに	グラスフィラー（300 ミリ）	RW-200P 012		5,050円（税別）
コップなどを置くときに	コップオキ	RW-200P 013		1,400円（税別）

●上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

メ モ

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は エコーセンターへ

TEL 0120－3121－68
FAX 0120－3121－87
(受付時間)9:00～19:00(月～土)
9:00～17:30(日･祝日)
携帯電話､PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談センターへ

TEL 0120－3121－11
FAX 0120－3121－34
(受付時間)9:00~17:30(月~土)･9:00~17:00(日･祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話､PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については､上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には､正確にご回答するために､通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

愛情点検

長年ご使用のウォータークーラーの点検を！

こんな症状はありませんか？	ご使用中止
●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●電源コードに深い傷や変形がある。 ●焦げ臭いにおいがする。 ●ピリピリと電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを外して、必ず販売店に、点検･修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います

この製品は、フロン排出抑制法の第一種特定製品です。地球温暖化防止のため、適正にフロン回収する必要があります。この製品を廃棄・整備する場合は、専門業者が行いますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

①フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
②この製品を廃棄・整備する場合は、フロン類の回収が必要です。
③この製品で使用しているフロンの種類、地球温暖化係数（GWP）および封入量は製品本体の銘板に表示しています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。
サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日	型式	
購入店名	電話　（　）		

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12　電話（03）3502-2111